

第1回中京区まちづくり会議 “中京まちづくりサロン”開催報告

「ワールドカフェ形式で“中京まちづくりサロン”を開催！」

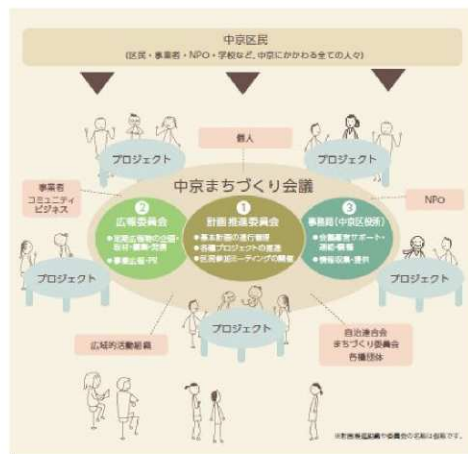
開催日時：平成23年7月28日（木）午後7時～9時
場 所：中京区役所4階大会議室
参加者：36名（事務局除く）

平成23年1月に策定された第2期中京区基本計画は、右図に示すように、**区民や事業者、行政の協働**で特定テーマに取り組む“プロジェクト”を起こして計画を推進していくかたちをとっています。

そのプロジェクトの種を発掘するため、自治連合会や各種団体に活動される方、NPO等で活動される方など、様々なかたちで中京のまちづくりに関わる方を迎えて、中京まちづくりサロンを開催しました。

第1回目のサロンの目的は、以下の3点に設定しました。

- プロジェクトに入っていたただけの方の発掘
- プロジェクトの種を発掘・発見（地域のニーズや連携の可能性を探る）
- まちづくりに関わる方々の情報交換・交流



（1）新しいことが動きだすと感じてもらうために、ワールドカフェ形式のワークショップ

参加者同士の交流を促す形式としてワールドカフェ*が適していること、参加者の皆さんに何か**新しいことが動きだす**と感じてもらうため、ワールドカフェ形式のワークショップにチャレンジしていただきました。

事務局もはじめての試みだったため、何度もプログラムを協議しながら当日に臨み、参加者の皆さんに発言の際のマナーや席替えなどの協力をお願いしました。

そして・・・、事務局の心配はまったくの取り越し苦労に終わり、参加者の皆さんは、いきいきと自分の取り組む活動やまちづくりの課題についての意見交換を行っておられました。

*ワールド・カフェ…“カフェ”のようなくつろいだ空間の中、参加者がルールに沿って自由に会話をを行い、創造的なアイデアや知識を生み出したり、互いの理解を深めることができる、という考えに基づいた話し合いの手法

＜プログラム＞	
第1ラウンド(15分)	「中京の魅力、好きなおところ」 席替え①
第2ラウンド(15分)	「ご自身の活動や関心テーマ」 席替え②(希望テーマへ)
第3ラウンド(40分)	テーマ別の意見交換
まとめ	



（2）「この指とまれ！」方式でテーマ別の意見交換（集約して7テーブルに）

第3ラウンドでは、参加者の皆さんからテーマを募り、「この指とまれ！」方式でテーマ別の意見交換を行いました（上の写真参照）。

うれしい誤算で、予想以上の多くの方が、このテーマで議論を深めたいと手をあげてくださいました。その方々から話したいテーマについて発表していただき、類似テーマを谷口委員長が集約。結果的に7テーブル（7テーマ）で話し合いました。

（第3ラウンドのまとめは、裏面をご覧ください）



第3ラウンドで話し合われたテーマ	
1	「交通」
2	「文化」 住んでいながら中京のことを知らない!?
3	「防災」
4	「景観・緑化」
5	「福祉+居場所づくり」 子育て世代、年配の方がここに 住んで良かった、となるように
6	「トイレから考える人づくり、まちづくり」
7	「まちなか活性化」

サロン参加者からひとこと。

「トイレから考える人づくり、まちづくり」は深い話です！

若年層・働き盛りの層がもう少し参加していたら良かった。

地域の人達の自分達の手で作上げるまちづくりを考えたい。

こういうサロンもまちづくり活動も、「継続」が大事だと思う。

（3）響きあう 人・まち・文化 中京区 ～わたしが創る ふれあいとにぎわいのまち～

今回の中京まちづくりサロンでは、中京でまちづくりに取り組まれている皆さんのパワーに触れ、その熱意に改めて驚かされました。中京区基本計画は、中京のまちに関わる皆さんとの“協働”をキーワードに、これからの10年間、まちづくりの取組を進めていきます。

まずは、まちづくりの課題に取り組む“プロジェクト”の登録方法を整備し、皆さんの中から生まれたプロジェクトを大きく育てる支援を行っていきます。また、以前から継続して行われているまちづくり活動の取組や活動団体等がプロジェクトとしてご登録いただいた場合、活動の段階に応じた支援が受けられるように支援方法を検討しているところです（例：①まちづくり活動の専門家によるアドバイス ②広報（基本計画広報チーム（今後立ち上げ）による情報発信））。

この中京区を、もっと住みやすい、もっとにぎわいのあるまちにしていきたいために、区民や事業者・行政が一体となってまちの課題に取り組む、そんな**“わたしが創る”まち**を目指していきましょう。

2011/7/28中京まちづくりサロン ワークショップ まとめ

班	テーマ	プロジェクトの種・案	キーワード・アイデア	写真
1	「交通」	●まちなか自転車マナーの改善	<ul style="list-style-type: none"> ・細街路問題 ・通学路の安心安全 ・商店街の荷さばき ・四条通歩道拡幅 ・安心できる道づくり（三条通） 	 
2	「文化」 住んでいながら 中京のことを知らない!?	●サロンや喫茶店で「歴史茶話会」等を開催する。 高齢の方に語り手になってもらい、小さな会で小さな 出会いを作っていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が全然知らない。若者とお年寄りの接点がない ・サロン開きたい人を集めて研修 ・語り手の継承、伝えないと失われる ・対話型、縁側の雰囲気 ・小さな集まりを1年間続けてまとめて本に ・知られていない…「ずいき祭」「後祭と先祭」 「1つの鉾でも囃子が違う」 	 
3	「防災」	●地域と防災。3・11を教訓とし、地域で防災に 備え何をしていくか。	<ul style="list-style-type: none"> ・3.11、東北で今求められていることを知る ・防災教育 ・京都の防災史…身近な場所の災害記録から学ぶ ・防災寺子屋の取組 ・日頃の備え、日常の情報把握が重要 ・災害時、独居の障害者やうつ・車いすの方等をどうケアするか ・プライバシーと日頃の情報把握 	 
4	「景観・緑化」	●屋上緑化の勉強会 ●マンションの園芸指導（種からキッチン園芸⇒マン ションの緑化へつなげる）	<ul style="list-style-type: none"> ・中京・花とみどりの会 ・中京の緑被率最低←場所がない ・公共スペース ⇄ 個人のスペース ・「住み続けたい」「気持ちよく暮らす」ための緑 ・マンションの改修緑化 ・食べられる緑 食の安全、食育 ・みつばち 	 
5	「福祉 + 居場所づくり」 子育て世代、年配の方が ここに住んで良かった、と なるように	●大人の寺子屋…大人向けのわくわくする楽しい集 まりを開催。大人が楽しめば、子どもも付いてくる （企画テーマ：絵、おやつ（食べ物）、大人クラブ等）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながりが薄れてきた ・子どもとお年寄り、交流の大切さ ・「何か」を通じて交流しコミュニティが生まれ、心が豊かに… ・広報的課題：活動していても知ってもらえない、情報が多すぎて 選べてない → ロコミ大切 ・企画やテーマ必要 ・イベント的催しは行きやすい ・参加したやる気のある人がリーダーに 	 
6	「トイレから 考える人づくり、 まちづくり」	●子どもがトイレを借りられる家を増やす （顔見知りが増える⇒防犯）	<ul style="list-style-type: none"> ・御所南小学校児童数 1183人、市内一 ・トイレを流さない子がいる ・各学校で地域の人と子どもと一緒にトイレ掃除（高倉小でやってる） ・中京の子どもに伝えたい「自分が使った後、ものはきれいに保つ」 「ごはんをいただくとき感謝の気持ちを持つ」 ・道徳教育 ・地域のおせっかいおばさん ・地域でのあいさつ ・トイレを借りられる家を増やす（防犯にもなる） 	 
7	「まちなか活性化」	●何気なく通っているときに楽しめるように、中京の うんちく、通り名、町名等を入れた銘板を、歩道に埋 め込む。壁面等に看板をかける。 ●インターネットを利用して、中京のうんちくを集め る。WEBで公開して、勝手に増えていくような仕組 みを作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・真ん中を知りたい、観光したい ・マップ付フリーペーパー…当日観光に役立ち ・住所の中に「上ル、下ル」なくなってきた ・大日如来と地藏菩薩の違い ・町名うんちくや仁丹の看板など ⇒こういったものを探するのも観光 ・いかにうんちくを集めるか ⇒集めた情報を地面やバス停に表示 	 